

けの備蓄品については、ご自身の非常持出品の中で準備をお願いします。

●車で避難できるような高台を作るべきだ。

(町)Ⅱ車両渋滞の発生による逃げ遅れを防ぐため、町民の皆さんには徒歩避難をお願いしているところですが、車両避難を必要とする地域や避難者数等を見ながら、今後の参考とさせていただきます。

●避難場所の草刈や簡易トイレの清掃など点検が必要ではないか。

(町)Ⅱ草刈や定期的な点検等により、避難場所の環境改善に努めます。

【町の対応について】

●コンクリエやネイパル厚岸にはたくさん車の車が避難してきた。町職員も交通誘導などの対応にあたるべきではないのか。

(町)Ⅱ津波警報等の発表直後は町職員も自身の安全確保のため、退避を優先する必要があることから、各避難場所において交通誘導等の避難者対応にあたることは難しいと考えています。

●厚岸の潮位の情報がテレビでは流れず、状況がわからなかった。

(町)Ⅱ潮位計が設置されている沿岸自治体は限られているため、当町への潮位計の設置について気象台へ要望していきます。

●地域や企業で防災活動を行う防災

士養成の取り組みを強化すべきではないか。

(町)Ⅱ現在は、町が各自主防災組織等からの推薦者に対する防災士取得に関する費用を一部助成する制度はありますが、今後、防災士制度自体の周知をはじめ、防災士養成に向けた取り組みを進めていきます。

●消防庁舎からの情報伝達がなぜ遅れたのか分析し、今後はしっかり対応してほしい。

(町)Ⅱ今後は、操作手順等をわかりやすくマニュアル化した上で、町職員の操作方法の習熟に努めます。

●町職員が避難してから防災行政無線で避難指示を出すのではなく、役場から迅速に行う必要があると思う。

(町)Ⅱ津波警報等の発表直後は町職員も自身の安全確保のため、退避を優先する必要があることや夜間、休日には役場庁舎に参集しないことから、可能な限り迅速に避難指示を出すため、厚岸消防署と連携し、消防署の防災行政無線から行います。

●防災意識を高めるため、町民に対し、防災講話や資機材を活用した研修会などを行ってはどうか。

(町)Ⅱ先日完成した厚岸町防災交流センター等を活用し、今後、防災研修会等の開催を予定しています。

●避難場所に来ていた職員がどうすれば良いのか分かってない様子だった。職員教育をしっかりと行うべきだ。

(町)Ⅱ町職員に対する訓練や研修会等を行い、避難場所等での対応を含めた災害対応力の向上に努めます。

●避難対応の確認を町立の小中学校や保育所にも行ったほうがいいのではないか。保護者が園児や児童を迎えにいけない場合、町としてどのように対応するのか。

(町)Ⅱ学校、保育所等における津波警報時の避難については、各施設ごとに作成している避難確保計画に基づき行われます。事前に取り決められた最寄りの避難場所へ各施設管理者が避難させ、保護者が迎えにくるまでの間、園児や児童の身の安全を確保します。また、災害対策本部においても、退避の完了や避難状況の確認を随時行うこととしています。

●釧路は津波注意報で「アラート」が鳴った。厚岸は津波警報で鳴ったが、注意報で鳴らした方が良いと思う。

(町)Ⅱ津波注意報の場合は、津波警報とは区別して、不安を過度に煽ることのないよう当町では「アラート」での周知は行っていないませんが、今後近隣自治体の状況も加味して検討していきます。

●役場の職員だけでの対応は難しいのでもっと町民やボランティアの協力体制が取れるようにした方がいいと感じた。

(町)Ⅱ例を挙げると、今回のような津波警報発表時の避難場所において

は、今後も各避難場所へ町職員を配置できるとは限らないことから、避難者ご自身で、様々なことに対応していただく必要があります。

今後、各自治会等と協力関係を築き、防災体制を強化していきたいと考えています。

●町の行動する姿をもっと前面に出すために、新聞やテレビなどに情報提供して町民の前に登場してほしい。

(町)Ⅱいただいた取材依頼等については、可能な限り対応する方針です。今後、情報提供手段の拡充について検討していきます。

●各避難場所において、避難者に数時間おきくらいに情報を提供して欲しい。

(町)Ⅱ各避難場所の備蓄倉庫にラジオを配備していますが、今後、情報提供手段の拡充を検討します。

【備蓄品・非常持出品について】

●避難先から自宅に戻る人が多かった。

(町)Ⅱ津波警報等が解除されていない中で、自宅に戻ることは危険を伴うため、自宅から避難場所等へ避難する際には、少なくとも3日程度過ごせるだけの非常持出品等の準備をお願いします。

